

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

# 東京都感染症週報

2026年第3週  
(1月12日～1月18日)

- \* 2026年1月21日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「口腔内常在菌が子宮内膜症発症に関与」も掲載しています。

令和8年(2026年)1月22日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213（直通）  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

# 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類）

2026年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		52週	1週	2週	3週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	57	6	38	29	73
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>					
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
	鳥インフルエンザ(H7N9)					
三類	コレラ					
	細菌性赤痢				1	1
	腸管出血性大腸菌感染症	7	1	6	3	10
	腸チフス					
	パラチフス					
四類	E型肝炎	2		3	6	9
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎			1		1
	エキノкокクス症					
	エムポックス	2		1	1	2
	黄熱					
	オウム病					
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症					
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>					
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱					
	つつが虫病	1				
	デング熱		1			1
	東部ウマ脳炎					
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)					

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		52週	1週	2週	3週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア					
	野兔病					
	ライム病					
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
	レジオネラ症	1	3	2	6	11
	レプトスピラ症				1	1
	ロッキー山紅斑熱					
2026/1/21集計						

### ( 全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類 )

#### <二類感染症>

**結核 29件** 患者 21件(肺結核 12件、その他の結核 9件)、無症状病原体保有者 8件、年齢は20代 3件、30代 3件、40代 1件、50代 4件、60代 6件、70代 5件、80代 5件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 12件、ネパール 2件、不明 15件であった。

#### <三類感染症>

**細菌性赤痢 1件** 患者、菌種は *Shigella sonnei* (D群)、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。  
**腸管出血性大腸菌感染症 3件** 患者 1件、無症状病原体保有者 2件、血清型・毒素型はO148 VT2 1件、O157 VT2 1件、O型別不明 VT2 1件、年齢は5歳未満 1件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 2件、推定感染経路は経口感染 1件、経口感染又は接触感染 1件、不明 1件であった。

#### <四類感染症>

**E型肝炎 6件(うち死亡 1件)** 患者 6件、年齢は40代 1件、50代 3件、80代 2件、推定感染地は国内 3件、不明 3件、推定感染経路は経口感染 3件、不明 3件であった。  
**エムポックス 1件** 患者、遺伝的系統群はクレードⅡ、性別は男性、年齢は30代、推定感染地は不明、推定感染経路は接触感染であった。  
**レジオネラ症 6件** 患者 6件、病型は肺炎型 6件、年齢は50代 1件、60代 1件、70代 2件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 4件、アラブ首長国連邦 1件、中国 1件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 5件であった。  
**レプトスピラ症 1件** 患者、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は水系感染又は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

#### <五類感染症>

**アメーバ赤痢 1件** 病型は腸管、年齢は40代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明であった。  
**ウイルス性肝炎 2件** 病型はB型 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、不明 1件、B型肝炎ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。  
**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2件** 病原菌は *Klebsiella aerogenes* 1件、*Enterobacter cloacae* 1件、年齢は80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はその他 1件、不明 1件であった。

# 全数把握対象疾患 報告数（五類）

2026年3週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		52週	1週	2週	3週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	2		3	1	4
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	4	1	1	2	4
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1	2	3
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)					
	急性脳炎*	3				
	クリプトスポリジウム症				1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4		5	3	8
	後天性免疫不全症候群	9		8	6	14
	ジアルジア症					
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3		3		3
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1				
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	1	4	8	13
	水痘(入院例に限る)	1		4	5	9
	先天性風しん症候群					
	梅毒	41	6	66	52	124
	播種性クリプトコックス症				1	1
	破傷風			1		1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	1
	百日咳	44	6	52	29	87
	風しん			1		1
	麻しん	1				
	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
2026/1/21集計						

\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

**クリプトスポリジウム症 1件** 年齢は20代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 病型は孤発性-古典型CJD、年齢は60代であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件(うち死亡 1件)** 血清群はA群 1件、G群 2件、年齢は60代 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は創傷感染 1件、その他 1件、不明 1件であった。

**後天性免疫不全症候群 6件** 病型はAIDS 1件、無症候性キャリア 5件、性別は男性 6件、AIDS患者の年齢は30代、無症候性キャリアの年齢は20代 3件、30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 2件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 3件、性別不明 1件)、同性間性的接触又は静注薬物使用 1件、不明 1件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 8件** 血清型は未実施 8件、年齢は30代 1件、50代 2件、70代 4件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 6件、不明 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 5件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価1回・23価1回接種済み 1件、接種なし 2件、不明 5件であった。

**水痘(入院例) 5件** 病型は臨床診断例 3件、検査診断例 2件、年齢は10代 2件、20代 1件、30代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、不明 4件、水痘ワクチン接種歴は1回接種済み 3件、不明 2件であった。

**梅毒 52件** 患者 28件(早期顕症梅毒Ⅰ期 17件、早期顕症梅毒Ⅱ期 10件、先天梅毒 1件)、無症状病原体保有者 24件、性別は男性 33件、女性 19件、年齢は5歳未満 1件、10代 3件、20代 19件、30代 13件、40代 10件、50代 3件、60代 3件、推定感染地は国内 38件、不明 14件、推定感染経路は性的接触 43件(同性間 6件、異性間 33件、性別不明 4件)、母子感染 1件、不明 8件であった。

**播種性クリプトコックス症 1件(うち死亡 1件)** 年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は免疫不全であった。

**バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件** 遺伝子型は不明、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他であった。

**百日咳 29件** 年齢は0歳 2件、5～9歳 4件、10代 7件、20代 6件、30代 4件、40代 5件、80代 1件、推定感染地は国内 21件、不明 8件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回以上接種済み 10件、3回接種済み 1件、接種なし 1件、不明 17件であった。

※2025年第52週該当分として〔五類〕劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、百日咳 1件の追加報告があった。  
※第2週該当分として〔四類〕E型肝炎 1件、レジオネラ症 1件、〔五類〕梅毒 3件、風しん 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2026年3週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2025年	2026年			報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		52週	1週	2週	3週		
小児科	RSウイルス感染症	64	33	70	67	263	264
		0.24	0.18	0.27	0.25		
	咽頭結膜熱	66	13	35	26		
		0.25	0.07	0.13	0.10		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	691	140	423	440		
		2.62	0.76	1.60	1.67		
	感染性胃腸炎	2,322	556	2,108	2,578		
		8.80	3.01	7.98	9.80		
	水痘	117	31	125	72		
		0.44	0.17	0.47	0.27		
	手足口病	7	3	13	7		
		0.03	0.02	0.05	0.03		
	伝染性紅斑	24	10	19	13		
		0.09	0.05	0.07	0.05		
	突発性発しん	53	10	73	68		
		0.20	0.05	0.28	0.26		
	ヘルパンギーナ	4	2	2	3		
		0.02	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	12	1	9	9			
	0.05	0.01	0.03	0.03			
川崎病 *1	5	2	2	2			
	0.02	0.01	0.01	0.01			
不明発しん症 *1	12	3	13	5			
	0.05	0.02	0.05	0.02			
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ* 2	5,622	1,389	2,882	3,032	418	419
		13.45	4.94	6.88	7.25		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	305	95	341	327	418	
		0.73	0.34	0.81	0.78		
眼科	急性出血性結膜炎			1		39	39
				0.03			
	流行性角結膜炎	10	5	15	11		
		0.26	0.19	0.38	0.28		
基幹	細菌性髄膜炎 *3			1		25	25
				0.04			
	無菌性髄膜炎	3	1	1			
		0.12	0.04	0.04			
	マイコプラズマ肺炎	10	6	14	8		
		0.40	0.24	0.56	0.32		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	1		1	1		
		0.04		0.04	0.04		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) *4	1	1	1	1		
		0.04	0.04	0.04	0.04		
インフルエンザ入院	52	35	42	41			
	2.08	1.40	1.68	1.64			
COVID-19入院	38	20	22	19			
	1.52	0.80	0.88	0.76			
2026/1/21 11:00集計							

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

黒太字表記:注意報レベル

赤太字表記:警報レベル

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、9.80となり増加傾向です。

# 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2026年3週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
～5か月	9		1	29								
6～11か月	11	2	1	130				9			1	1
1歳	24	8	17	387	2	2	2	38	1			1
2歳	12	2	34	260	2	4	1	14			1	
3歳	5	3	39	183	3		2	2	1	1		1
4歳		5	61	184	4		3	4		1		
5歳	1	3	49	159	1		2			1		
6歳	1		41	172	6		2	1		1		2
7歳			35	95	10					1		
8歳	3	1	33	122	9		1			2		
9歳			32	102	10							
10～14歳	1	1	65	341	24	1			1	2		
15～19歳			7	90	1							
20～29歳		1	25	324								
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	67	26	440	2,578	72	7	13	68	3	9	2	5
先週比	-3	-9	17	470	-53	-6	-6	-5	1			-8

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	急性呼吸器感染症(ARI)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院
～5か月	14	2	911								1	
6～11か月	23	5										
1歳	97	15						1			3	1
2歳	103	5									3	
3歳	121	5	5,407								1	
4歳	120	8			1			1	1		1	
5歳	155	6									2	
6歳	156	7						1			4	
7歳	141	6	3,340					1				
8歳	123	5									2	1
9歳	116	1										
10～14歳	552	28	1,783					1		1	2	
15～19歳	308	21	861								2	
20～29歳	342	35	1,013		3						2	
30～39歳	210	35	1,017		4							1
40～49歳	223	31	1,026		1			2			1	
50～59歳	103	45	867		1							2
60～69歳	67	30	626		1							5
70～79歳	35	20	514					1			3	4
80歳以上	23	17	323								14	5
合計	3,032	327	17,688		11			8	1	1	41	19
先週比	150	-14	-2,041	-1	-4	-1	-1	-6			-1	-3

注:急性呼吸器感染症(ARI)の10歳未満は「0歳」「1～4歳」「5～9歳」と読み替える。

眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2026年3週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	0.33		1.33	3.67								
中央区				12.67								
みなと	0.50	0.17	1.00	6.50	0.33	0.50		0.17		0.17		
新宿区	0.25	0.13	1.13	4.38	0.13			0.13				
文京		0.25	1.25	16.00	0.25			0.25				
台東	0.25		3.75	14.00	0.25			0.50	0.25	0.25		
墨田区	0.40		1.00	4.40	0.40			0.20				
江東区	0.11	0.22	1.89	15.67	0.22			0.33				
品川区	0.25		1.13	7.25	0.50							
目黒区	0.20		1.80	8.40	0.20	0.20	0.20					
大田区	0.08	0.23	2.62	14.00	0.15		0.46	0.31		0.08		
世田谷	0.44		1.06	8.38	0.06		0.06	0.13				
渋谷区			1.50	9.75								
中野区	0.17		1.33	16.00				0.17				
杉並	0.18			6.82		0.09	0.09			0.09	0.09	0.09
池袋	0.60		0.60	8.00	0.20			0.60				
北区		0.14	1.43	9.43								
荒川区	2.75		2.25	13.75				0.50				
板橋区		0.20	0.40	11.20				0.10				
練馬区	0.46	0.15	1.62	10.08	0.38		0.08	0.38				
足立	0.15	0.08	1.62	9.15	0.15			0.62			0.08	
葛飾区	0.13		0.75	9.13	0.38			0.13		0.13		0.13
江戸川	0.08	0.33	3.00	8.50	0.08			0.17		0.08		0.17
八王子市	0.18	0.18	3.64	9.18	0.45			0.45				
町田市	0.75	0.13	5.38	26.88	1.88			0.13		0.38		
西多摩			1.00	5.50	0.13			0.25				
南多摩	0.22	0.11	0.89	6.56	0.22		0.11	0.11				
多摩立川	0.08		1.85	5.31	0.15		0.08	0.23				
多摩府中	0.10		1.90	8.14	0.57	0.05	0.05	0.52	0.10			0.05
多摩小平	0.40	0.27	1.53	12.53	0.40	0.07		0.47				
島しょ				1.00								

東京都	0.25	0.10	1.67	9.80	0.27	0.03	0.05	0.26	0.01	0.03	0.01	0.02
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	4.00	0.50	25.25								0.50	0.50
中央区	3.60	0.20	29.40									
みなと	5.44	0.67	39.11								1.00	
新宿区	4.67	0.83	20.42		1.00							1.50
文京	11.00	1.00	54.86								2.00	1.00
台東	5.29	0.71	48.57									
墨田区	3.63	0.25	15.75								2.00	1.00
江東区	10.86	0.43	49.14									
品川区	6.58	0.33	26.92		2.00							
目黒区	4.13	0.38	24.63									
大田区	7.48	0.67	36.57								1.00	1.00
世田谷	6.24	0.56	42.24							0.50	1.50	1.00
渋谷区	5.43	0.71	31.14								1.00	1.00
中野区	11.90	0.80	84.50									
杉並	9.00	0.65	29.71						0.50		2.50	
池袋	10.00	1.13	48.50		1.00			1.00				
北区	7.27	0.82	32.82									
荒川区	9.57	0.86	51.71									
板橋区	5.56	1.13	34.00		1.00						2.00	
練馬区	6.90	0.71	38.29									
足立	6.25	1.00	46.85									
葛飾区	5.31	0.69	31.00					3.00			2.00	
江戸川	7.74	0.84	46.21		0.50							
八王子市	11.44	1.06	84.89								1.00	3.00
町田市	14.00	0.31	83.38									
西多摩	3.86	0.93	23.43					1.00			1.00	1.00
南多摩	6.57	1.71	40.93									
多摩立川	4.85	0.75	30.15								1.00	1.00
多摩府中	8.36	0.97	42.61		1.00			0.67			2.00	0.67
多摩小平	6.39	0.74	50.78					0.50			6.00	1.00
島しょ	3.50	1.50	13.00									

東京都	7.25	0.78	42.32		0.28			0.32	0.04	0.04	1.64	0.76
-----	------	------	-------	--	------	--	--	------	------	------	------	------

注: 表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。



定点把握対象疾患 報告数【保健所別】2026年3週

	小児科											
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	1		4	11								
中央区				38								
みなと	3	1	6	39	2	3		1		1		
新宿区	2	1	9	35	1			1				
文京		1	5	64	1			1				
台東	1		15	56	1			2	1	1		
墨田区	2		5	22	2			1				
江東区	1	2	17	141	2			3				
品川区	2		9	58	4							
目黒区	1		9	42	1	1	1					
大田区	1	3	34	182	2		6	4		1		
世田谷	7		17	134	1		1	2				
渋谷区			6	39								
中野区	1		8	96				1				
杉並	2			75		1	1			1	1	1
池袋	3		3	40	1			3				
北区		1	10	66								
荒川区	11		9	55				2				
板橋区		2	4	112				1				
練馬区	6	2	21	131	5		1	5				
足立	2	1	21	119	2			8			1	
葛飾区	1		6	73	3			1		1		1
江戸川	1	4	36	102	1			2		1		2
八王子市	2	2	40	101	5			5				
町田市	6	1	43	215	15			1		3		
西多摩			8	44	1			2				
南多摩	2	1	8	59	2		1	1				
多摩立川	1		24	69	2		1	3				
多摩府中	2		40	171	12	1	1	11	2			1
多摩小平	6	4	23	188	6	1		7				
島しょ				1								

東京都合計	67	26	440	2,578	72	7	13	68	3	9	2	5
-------	----	----	-----	-------	----	---	----	----	---	---	---	---

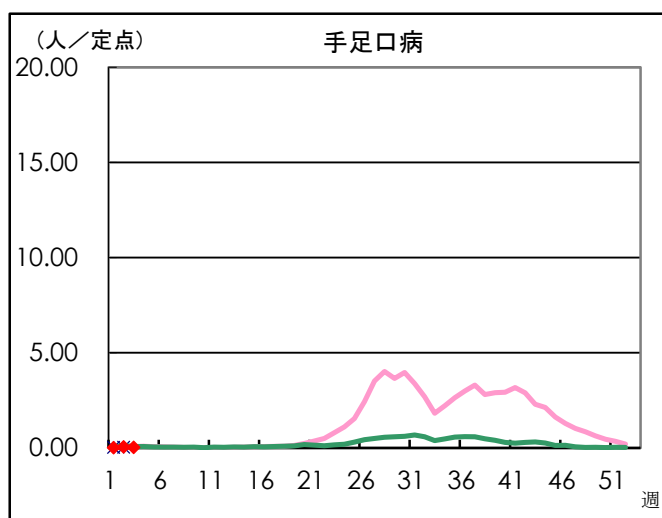
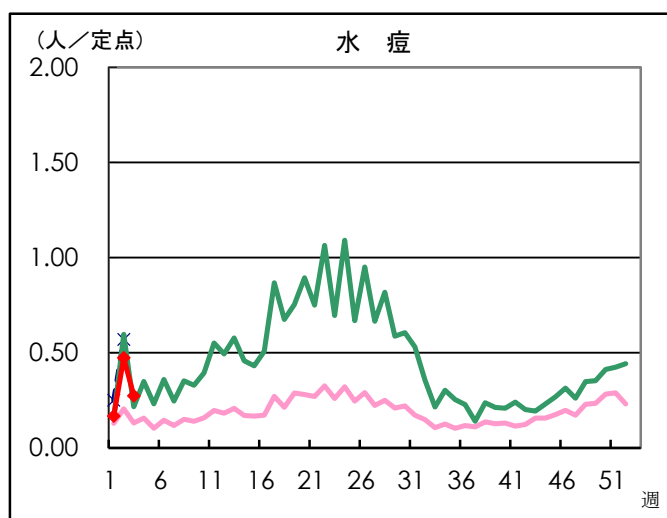
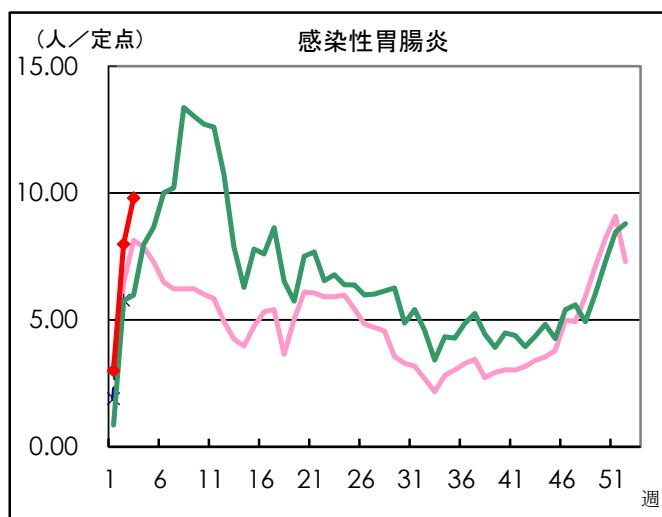
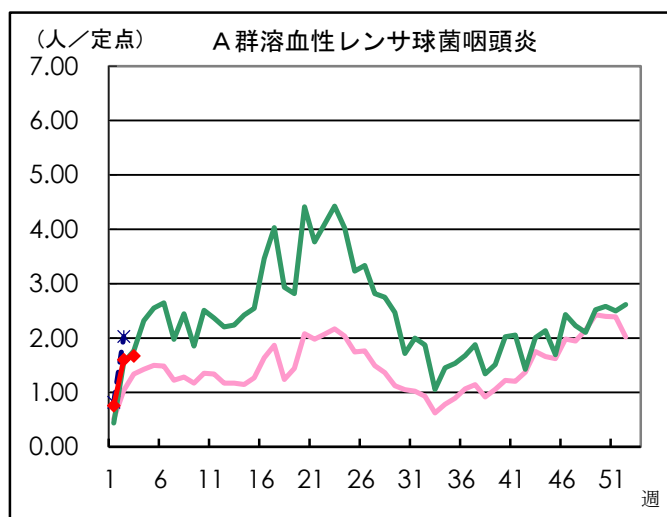
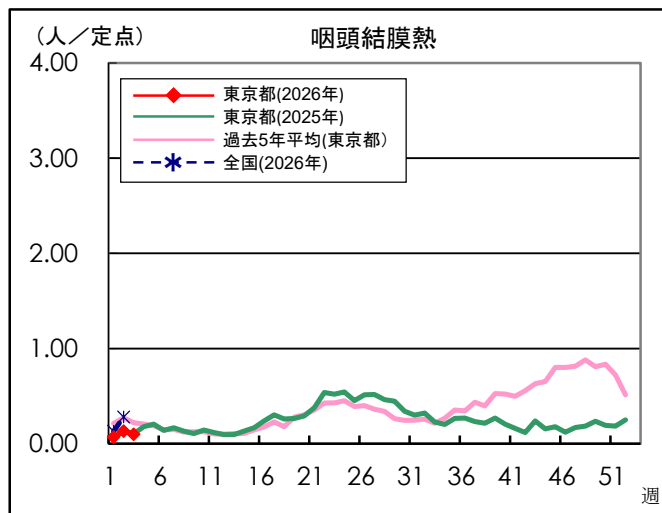
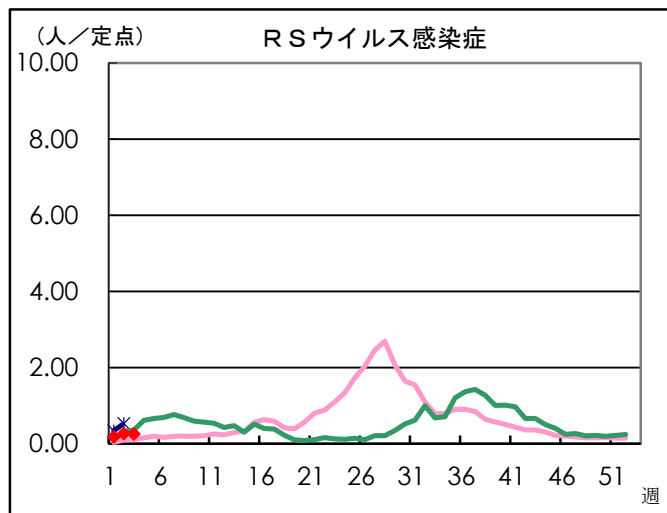
	急性呼吸器感染症			眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	16	2	101								1	1
中央区	18	1	147									
みなと	49	6	352								1	
新宿区	56	10	245		2							3
文京	77	7	384								2	1
台東	37	5	340									
墨田区	29	2	126								2	1
江東区	152	6	688									
品川区	79	4	323		2							
目黒区	33	3	197									
大田区	157	14	768								1	1
世田谷	156	14	1,056							1	3	2
渋谷区	38	5	218								1	1
中野区	119	8	845									
杉並	153	11	505						1		5	
池袋	80	9	388		1			1				
北区	80	9	361									
荒川区	67	6	362									
板橋区	89	18	544		2						2	
練馬区	145	15	804									
足立	125	20	937									
葛飾区	69	9	403					3			2	
江戸川	147	16	878		1							
八王子市	206	19	1,528								1	3
町田市	182	4	1,084									
西多摩	54	13	328					1			1	1
南多摩	92	24	573									
多摩立川	97	15	603								1	1
多摩府中	276	32	1,406		3			2			6	2
多摩小平	147	17	1,168					1			12	2
島しょ	7	3	26									

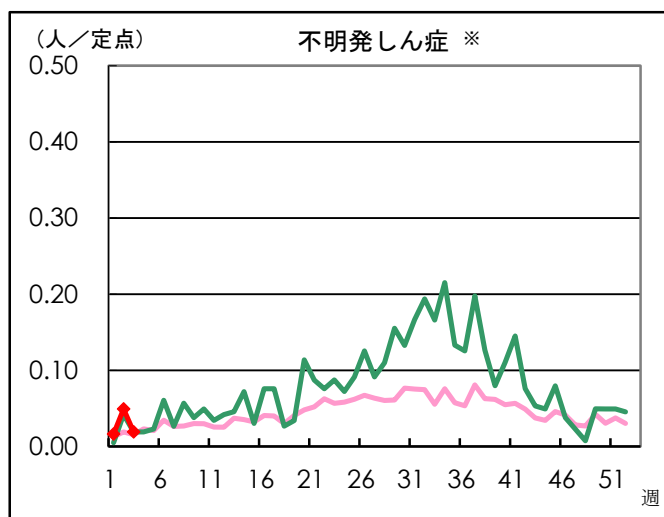
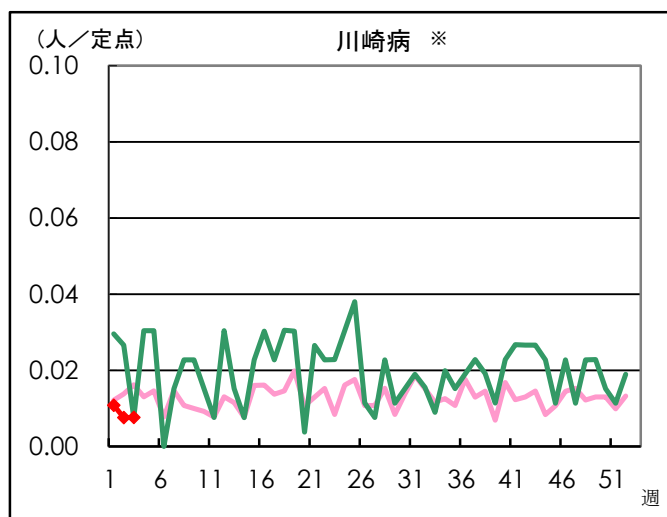
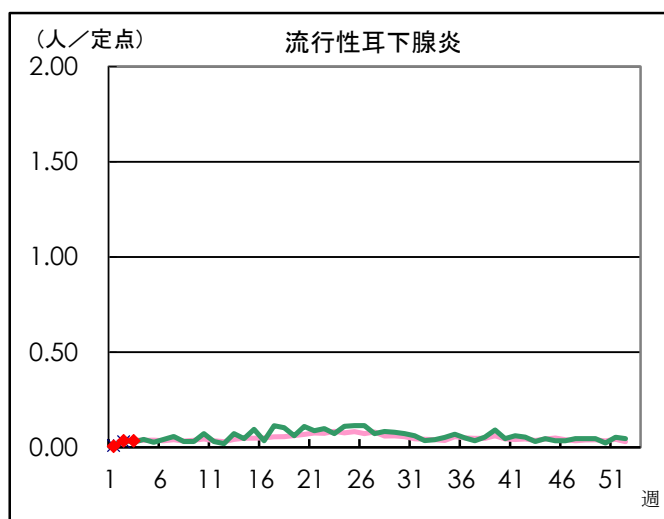
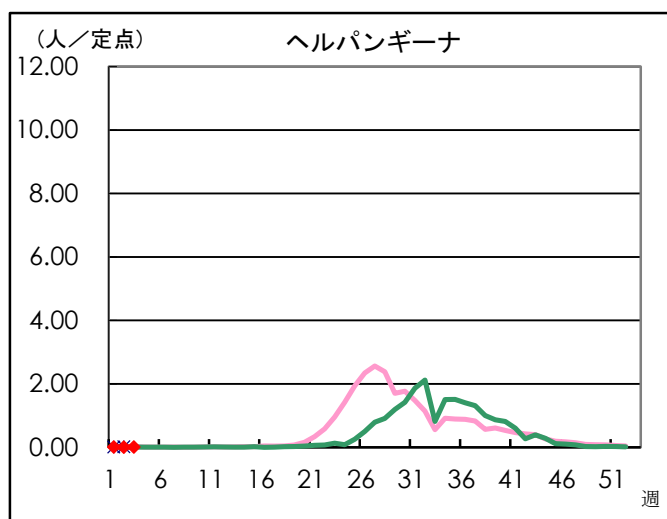
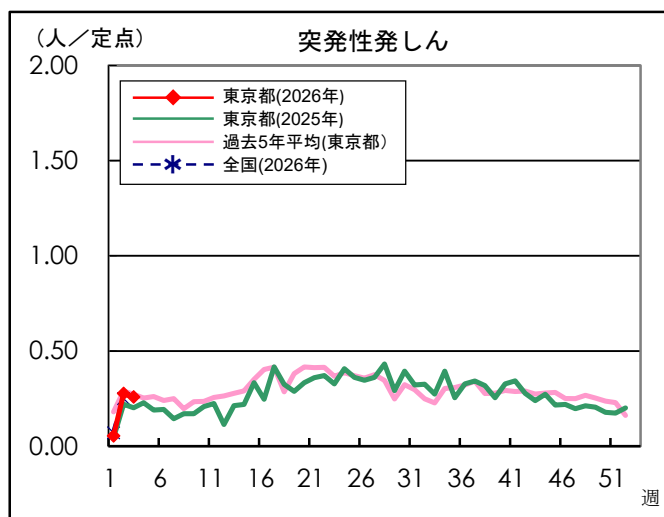
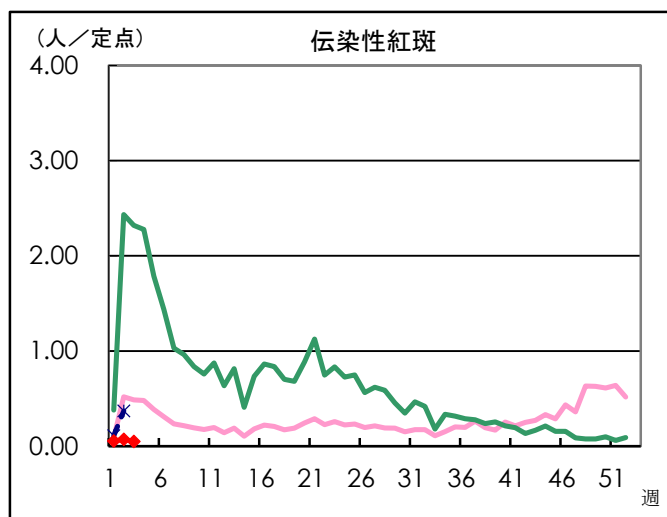
東京都合計	3,032	327	17,688		11			8	1	1	41	19
-------	-------	-----	--------	--	----	--	--	---	---	---	----	----

注: 表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2026年3週 現在)

## ◆小児科定点

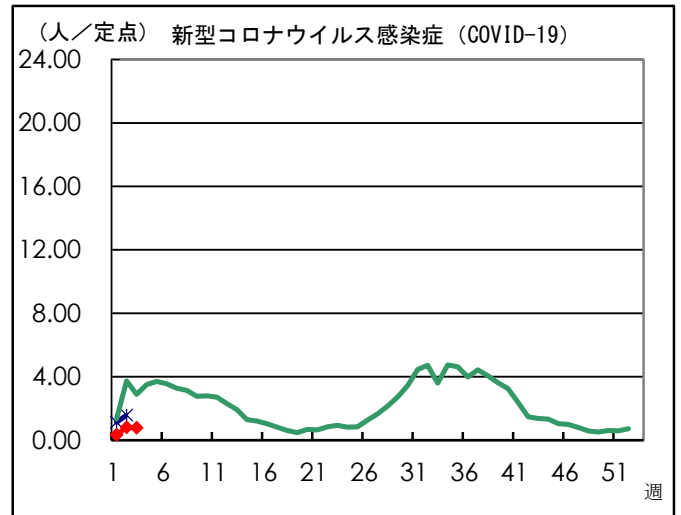
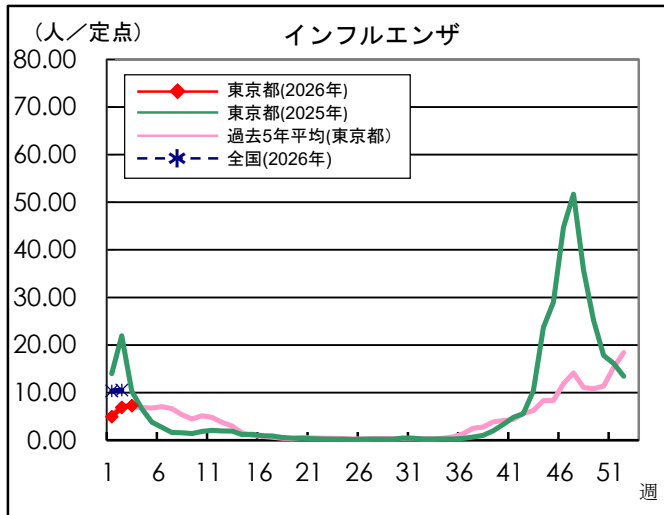




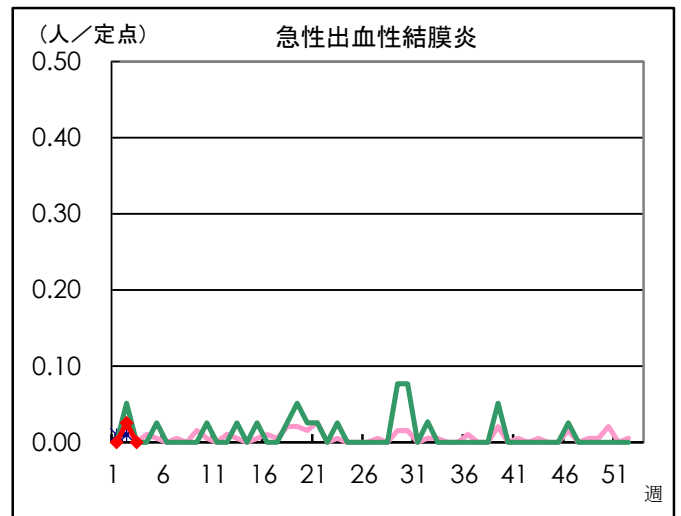
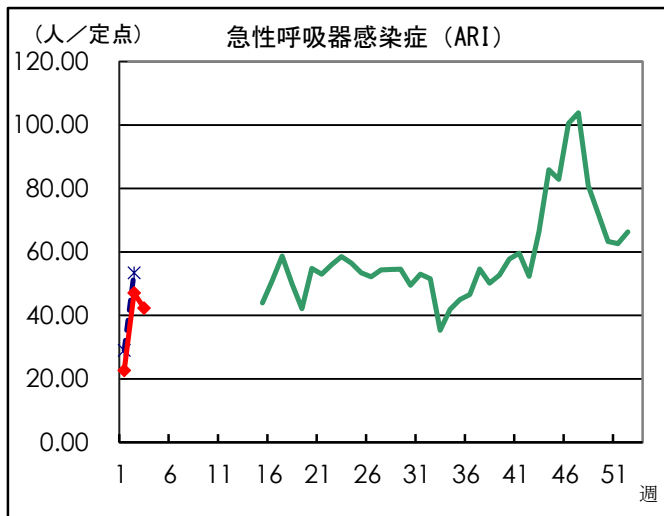
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

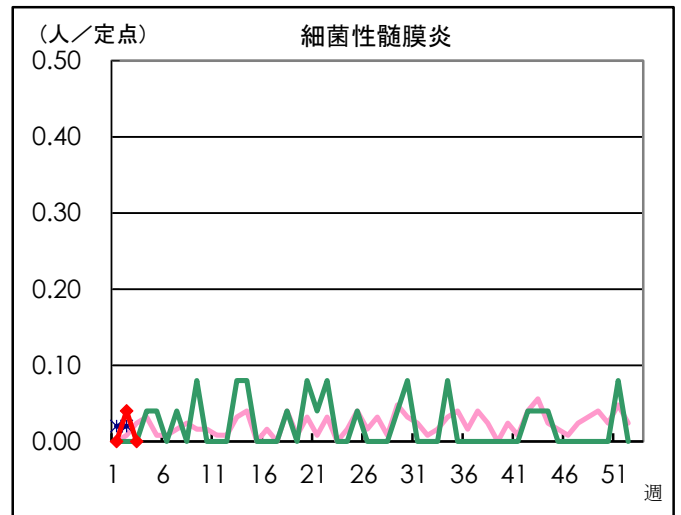
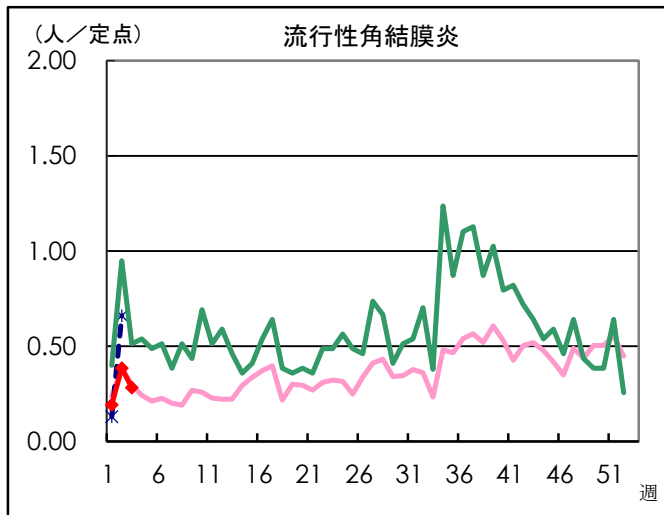
### ◆急性呼吸器感染症定点



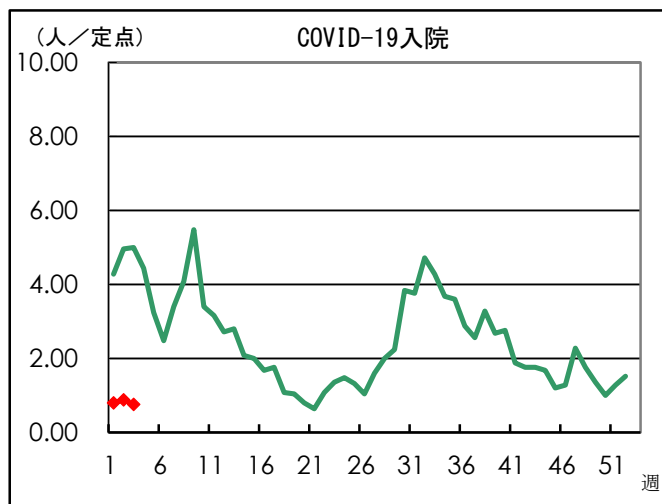
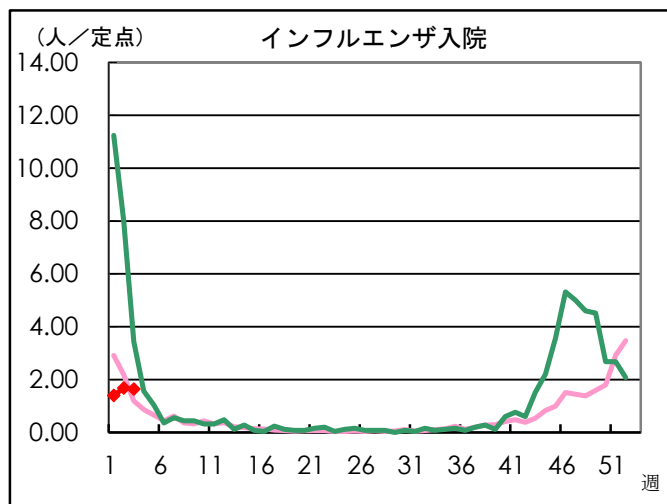
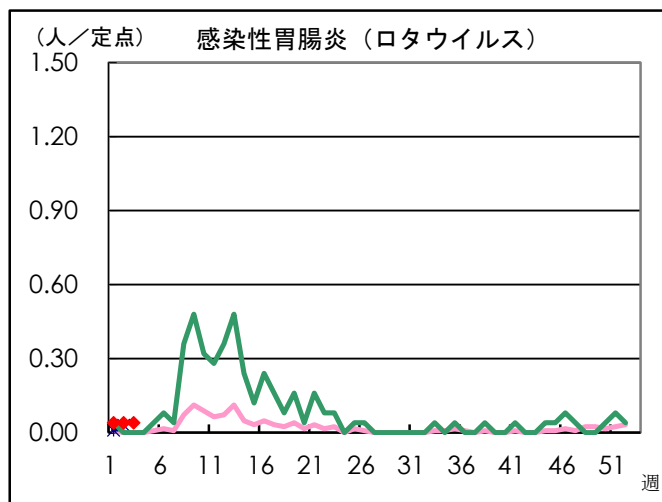
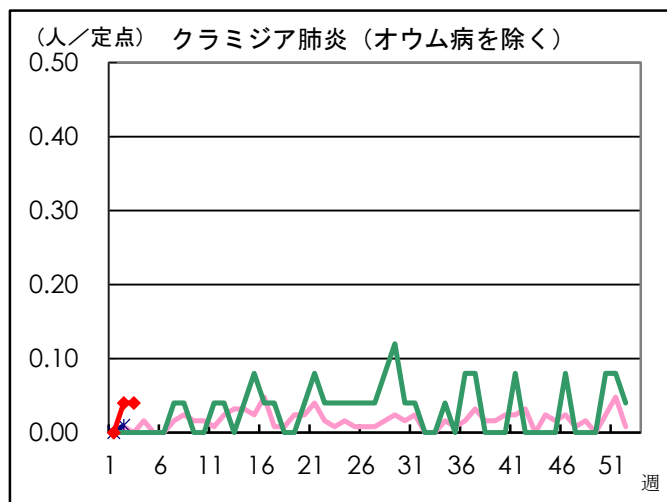
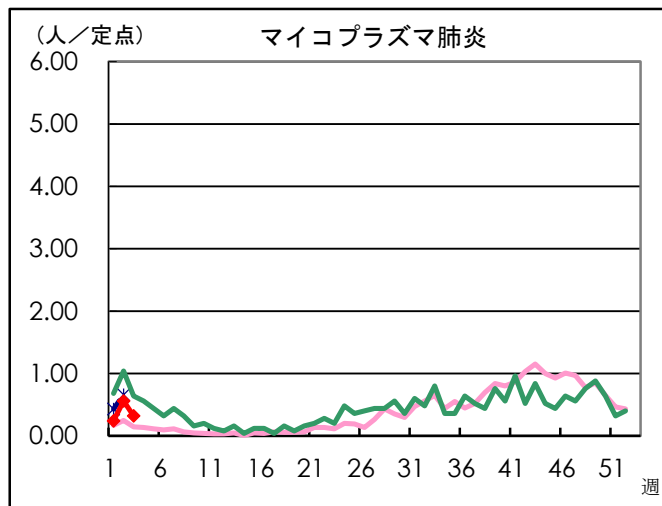
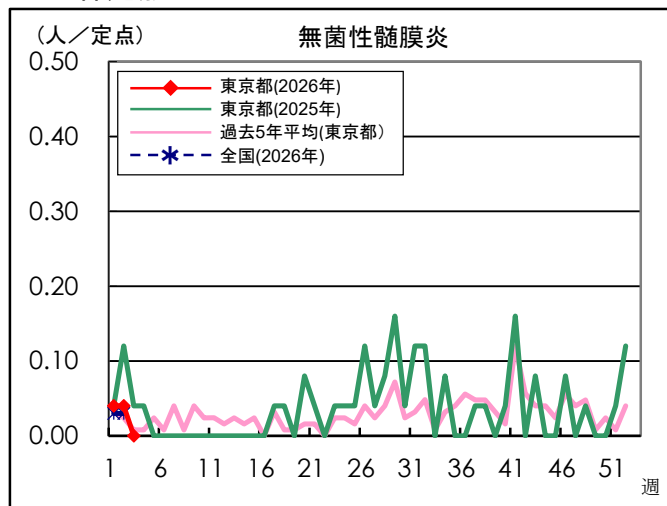
### ◆眼科定点



### ◆基幹定点



◆基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
12/15	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-3型
12/16	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
12/16	インフルエンザ	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ ライノウイルス
12/16	インフルエンザ	2	鼻咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ ライノウイルス
12/16	インフルエンザ	3	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ ライノウイルス
12/18	RSウイルス感染症	11	鼻咽頭拭い液	RSウイルスA型
12/18	咽頭結膜熱	6	鼻咽頭拭い液	アデノウイルス2型 ライノウイルス
12/18	インフルエンザ	8	鼻咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型Victoria系統※ SARS-CoV-2
12/18	急性呼吸器感染症(その他)	4	咽頭拭い液	RSウイルスB型 ライノウイルス
12/18	急性呼吸器感染症(その他)	6	咽頭拭い液	RSウイルスB型
12/19	新型コロナウイルス感染症	9	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
12/19	急性呼吸器感染症(その他)	11	鼻腔拭い液	ライノウイルス
12/22	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
12/22	インフルエンザ	8	咽頭拭い液	エコーウイルス18型
12/23	RSウイルス感染症	2	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
12/23	新型コロナウイルス感染症	37	鼻咽頭拭い液	SARS-CoV-2
12/23	急性呼吸器感染症(その他)	2	咽頭拭い液	ライノウイルス
12/23	急性呼吸器感染症(その他)	4	咽頭拭い液	ライノウイルス
12/23	急性呼吸器感染症(その他)	6	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型Victoria系統※ アデノウイルス1型
12/23	急性呼吸器感染症(その他)	12	咽頭拭い液	ライノウイルス
12/23	感染性胃腸炎	6	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ.4
12/24	急性呼吸器感染症(その他)	45	鼻腔拭い液	ライノウイルス
12/24	急性呼吸器感染症(その他)	85	鼻腔拭い液	ライノウイルス
12/25	急性呼吸器感染症(その他)	9M	鼻咽頭拭い液	ライノウイルス
12/25	急性呼吸器感染症(その他)	1	鼻咽頭拭い液	RSウイルスA型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2025年52週		20	4	
2025-2026年 シーズン累計*	9	374	20	

\* 2025-2026年シーズンの開始は第36週(2025年9月1日～)

※ この他、ワクチンタイプ(経鼻弱毒生ワクチン由来タイプ)がシーズン累計で6件検出された。

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2025年							
	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週
アデノウイルス	1	1	5	2	3	2	4	1
コクサッキーウイルスA群		1			1			
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス		1		1		1		1
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	20	12	10	11	10	13	10	7
ヒトメタニューモウイルス		2		1	2			
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1						
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19		3	1					
RSウイルス	2	2	2	2	2	3	5	1
ノロウイルス			1					1
ロタウイルス			2					
サボウイルス				1			1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1	1	1					
インフルエンザウイルスAH3亜型	34	27	49	41	37	37	34	20
インフルエンザウイルスB型Victoria系統		1	1		1		6	4
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)	3		1	1		1		
SARS-CoV-2	1	2	4	6	1	6	3	1
その他のウイルス	4	2	2	2	1		2	
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1	1	1	1	1	
A群溶血性レンサ球菌T-4型	1		1			1	1	1
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型	1	1						
A群溶血性レンサ球菌T型別不能				1				
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ		1			2	1		
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2025年45週～2025年52週

	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	イン フル エン ザ	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症	急 性 呼 吸 器 感 染 症 ( そ の 他 )	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 疹	流 行 性 耳 下 腺 炎	川 崎 病	不 明 発 し ん 症	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎
搬入検体数	7	6	11	2	266	16	227	14	1		2	3	2		8		3				
アデノウイルス		3		1	7		6										2				
コクサッキーウイルスA群		1													1						
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス		1			1	1	1														
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス	1	3			23	2	63								1						
ヒトメタニューモウイルス					1		4														
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型												1									
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19							1				1				2						
RSウイルス	4				1		14														
ノロウイルス								2													
ロタウイルス								2													
サポウイルス								2													
インフルエンザウイルスAH1pdm09					3																
インフルエンザウイルスAH3亜型		1		1	241	3	33														
インフルエンザウイルスB型Victoria系統					11		2														
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
インフルエンザウイルス(ワクチンタイプ)					6																
SARS-CoV-2					5	15	4														
その他のウイルス	1						9	3													
A群溶血性レンサ球菌T-1型																					
A群溶血性レンサ球菌T-3型			2				3														
A群溶血性レンサ球菌T-4型			5																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1																		
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ			1				3														
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

## <感染症豆知識>

### 口腔内常在菌が子宮内膜症発症に関与

子宮内膜症は、卵巣チョコレート嚢胞や腹腔内癒着などを引き起こす難病で、不妊症や月経困難症などの原因となり、生殖年齢の女性のおおよそ10人に1人が罹患する。原因としては、月経血が卵管を逆流して子宮内膜細胞が卵巣や腹腔内に生着するという「月経血逆流仮説」が有力である。しかし、月経血の逆流はほぼすべての月経周期で起こるにもかかわらず、なぜ一部の女性にのみ子宮内膜症が発症するのかは不明であった。

2023年に名古屋大学の研究グループが、口腔内常在菌で歯周病の原因菌として知られる *Fusobacterium* が、間接的に子宮内膜症の発症に関与している可能性を報告した (Muraoka A, et al. Sci Transl Med 15: eadd1531, 2023)。従来、子宮内膜はほぼ無菌と考えられていたが、近年の遺伝子解析技術の進歩により、子宮内膜にも微量の微生物叢が存在する可能性が示唆されている。研究では子宮内膜症患者の子宮内膜に *Fusobacterium* が有意に多く、病変部からも同菌が検出された。またマウスモデルでこの菌に対する抗菌薬治療を行うと、子宮内膜症の発症が抑制され、病変の縮小も認められた。ヒトでの結果が待たれるところである。

子宮内膜症は生殖年齢の女性に多大な影響を及ぼす疾患であり、少子化対策の観点からも重要である。これまでは手術療法やホルモン療法が中心であったが、今回の研究により抗菌薬治療という新たな治療戦略が提案され、多くの女性に新たな光明をもたらす可能性がある。

(文責 恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院)

副院長・産婦人科部長 山下隆博)